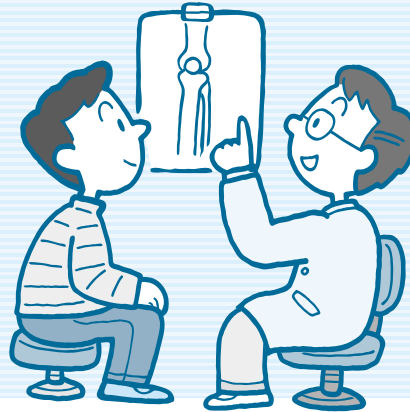


# 整形外科に

# ついて



須川 敬(左立)、伊藤孝紀(筆者・中央立)吉村伸二(左座)  
金子正利(左座2)、八木秀樹(左座3)、中村 滋(左座4)



## 診療科の特徴

整形外科では、骨・関節に関する病気(疾患)・ケガを中心に診療を行っています。具体的には、椎間板ヘルニアや脊髄症・脊柱管狭窄症などに代表される脊椎疾患、変形性関節症などの関節疾患、事故やスポーツによる骨折などを診

療対象としています。

当科では、当地区の患者さんに

絶対的の信頼を得ている脊椎外科医・中村医師(副院長)と、新進気鋭の若手整形外科医5名の計6名で診療に当たっています。評判を聞きつけて、掛川地区のみならず



ず袋井・菊川などの近隣地区や、愛知・岐阜・静岡東部などの遠方からも当院での治療を希望し来院

される方もあり、毎年1,000件以上の手術を行っています。

## 脊椎疾患について



当科で最も多く治療を行っている疾患です。中村医師を中心に6人全員で治療に当たっています。高齢者が多い当地区では、特に頸髄症や、腰部脊柱管狭窄症などが多くみられます。

年齢とともに脊髄神経の通り道である脊柱管が狭窄して神経が圧迫されることで、頸椎では頸髄症と呼ばれる状態となり、手のしびれ・巧緻運動障害(字を書いたり箸を使ったりなどの細かい運動ができなくなること)などの症状をきたし、腰椎では腰部脊柱管狭窄

症を生じて、安静時の坐骨神経痛・歩行時の下肢痛・下肢筋力低下を生じます。これらの治療としては、痛み止め・神経への血行を改善する薬の内服やブロック注射が有効な場合がありますが、それでも症状が続き日常生活に不自由が生じる場合は、脊髄神経の通り道(脊柱管)を拡大して圧迫を取り除く手術が有効です。手術によってそれ以上の症状の悪化を防ぐとともに、痛みや運動障害・筋力低下などの改善が得られます。

## 関節疾患について



年齢とともに関節の軟骨は擦り減っていきます。ちょうど自動車のタイヤが、走行とともに擦り減っていくのを想像していただくのと分かりやすいでしょう。軟骨の

摩耗に伴い、関節に変形が生じることを変形性関節症と呼びますが、これが膝関節や股関節に生じれば、階段昇降や歩行に大きな支障をきたします。脊椎疾患同様、